

# News Letter

らっきょうの花（鳥取市）

2021年  
11月

中国四国農政局  
鳥取県拠点

## 多品目、周年栽培で安定経営を ～（株）ファーム山脇～

北栄町でらっきょうとすいかを軸に、多品目周年栽培に取り組む（株）ファーム山脇は、農林水産省と全国担い手育成総合支援協議会が共催している令和2年度全国優良経営体表彰で経営局長賞を受賞しました。

代表の山脇茂則さんは33年前、30歳でJAを退職後、就農しました。当初は主にすいかを生産していましたが、新たに鳥取県中部のらっきょう独自系統「大栄1号」が開発されたことがきっかけで遊休農地を活用して栽培に取り組みました。

らっきょう、すいか以外にも小松菜、ブロッコリー、中玉トマト、スイートコーン及びストック・アスターなどの花き類を栽培することで、繁忙期と、閑散期を可能な限り作らない、一年を通した周年での営農に取り組んでいます。これにより、周年で農作



代表取締役の山脇茂則氏  
（「（株）ファーム山脇」ホームページより掲載）

業を続けることが出来る環境整備と、新たな技術を利用し、規模拡大に取り組みつつ、作業効率の向上を目指しています。

あわせて農業研修生を積極的に受け入れることで、農業後継者の育成にも力を入れています。

また、倉吉農業高校から農業研修生を受け入れているつながりから、令和2年からは青パパイヤの栽培にも挑戦されています。

代表の山脇さんは、「JA職員であった頃も、就農してから今までも、人とのつながりがあったことで今に至っている。今後も人との縁を大事にしながら新たなことに取り組んでいきたい。」と話していました。

（「（株）ファーム山脇」ホームページ



出荷を待つ「ストック」

<https://www.farm-yamawaki.com/> )



# トピックス

## 倉吉農業高校発！青パイヤ収穫

令和3年10月28日、倉吉農業高校生物科野菜専攻の生徒は、丹精込めて栽培した、青パイヤ果実の収穫を行いました。今年7月の確認時は草丈70センチ程度でしたが、2メートル以上にも成長しているパイヤもありました。

収穫量は、7月豪雨により昨年と比べやや下回ったものの、重さ1キロ以上の果実もあり、生徒が着果数や重量等を記録したデータは翌年の栽培技術に活用していくと説明がありました。



とっとりパイヤフェスティバルで販売



手作業で収穫

同校は、青パイヤの特産化を目指す県内の生産者等が主催するイベントにおいて、収穫した果実や葉を利用して商品化したお茶等の加工品を販売すると共に、栽培研究の成果を参加者に紹介して青パイヤ栽培への機運を高めています。今後も、青パイヤの普及や特産化に向け、地域の生産者等と連携しながら栽培指導や研究を推進したい、とのことでした。

(「倉吉農業高校」ホームページ

<https://cmsweb2.torikyo.ed.jp/kurano-h/> )

## インフォメーション

### 農林水産省から直接お届け「MAFFアプリ」使ってみて！

MAFFアプリは、農業に携わる皆様に役立つ情報を農林水産省から直接お届けするスマホ用アプリです。

設定していただいた情報を元に、各種のお役立ち情報をプッシュ通知で発信します。

また、現場の情報をアプリを通じて直接、農林水産省へ届けることができます。

今後は、農林水産省の各種手続き・申請をオンラインで行う「農林水産省共通申請サービス(eMAFF)」との連携を予定しております。



編集：中国四国農政局 鳥取県拠点

〒680-0845 鳥取市富安2丁目89番地4 鳥取第1地方合同庁舎

TEL (0857)22-3131(代) FAX(0857)27-9672 <農政局HP> <https://www.maff.go.jp/chushi/>

◆ニュースレターに関するアンケートにご協力ください。 <https://www.contactus.maff.go.jp/j/chushi/form/nl180401.html>